

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束は教育委員会でも、年2回は開催して勉強をして行かなくてはならない課題でもあり、してはいけない介護でもあるので、常に頭と体に覚え叩き込まなくてはならない。より良い介護をするには大切な研修でもある。	身体拘束の勉強をすることで、その方に合った介護が拘束になっていないか、苦痛に感じていないかを察し一日が楽しく生活を送れるようにして行く。	・年2回の研修会を開催し、皆で意見を出しながらその人らしいせいかつが送れるよう支援方法を考える。 ・周りの他職員との連携も図り、不適切な言葉使いやケアの仕方があれば、注意が出来る環境を作る。	12ヶ月
2	21	入居者様の状態も様々になってきている。介護度の幅も影響も大いにあり、関係性の偏りや孤立などが考えられる。	入居者様が孤立せず、仲の良い関係性が築き上げられるような方達を作られるようにする。	・介護度の近い入居者様等を同じテーブルにし、職員が常に入居者様の話をしている姿の様子に気を配り、間を取り持って声掛けをしたりして楽しい関係作りが出来るように努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。